企業診断くまもと

No. 32
2026年号
（2026. 11. 1発行）

熊 本 新 景　「熊本地震　10 Years After」



［写真提供：熊本城総合事務所］

2016年４月、最大震度７を観測した熊本地震から10年、復興途上にあった熊本城をまたも地震が襲った。

気象庁により、令和８年熊本地震と名付けられた今回の地震は、県内各地に甚大な被害をもたらし、今も日常の生活に戻ることができない県民の方も多い。

安全確保、生活の再建が最優先課題として取り組まれている中、９月下旬現在、なりわいについても徐々に支援制度が固まってきており、金融支援の他、小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）、くまもと事業者再出発支援補助金等の補助金も創設され、事業の再建に向け、一歩ずつあゆみを進めている。

令和８年熊本地震により被害を被った熊本城だが、９月下旬現在、一部の周辺施設を除き通常開園に戻り、多くの観光客を受け入れている。再度、力強く復興を果たしていく熊本城を仰ぎ見ながら、私たち中小企業診断士も事業者によりそい、復興支援に向け、全力を尽くしていきたい。

目次

熊本新景　「熊本地震　10 Years After」 …… 1
くまもと羅針盤 …… 2
「落ち着いて壁打ち」　会長　井上　照教
熊本の元気企業紹介 …… 3
川村工業株式会社　地域とともに歩み続けて40年 快適でクリーンな生活インフラを創造する
職場で活躍する企業内診断士訪問シリーズ第８回 …… 5
上田　琢磨　会員
特集 …… 6
熊本地震から10年 ～災害からの復興を振り返る～
「まさか」に備える　ＢＣＰ・事業継続力強化計画
トピックス …… 10
• 令和８年熊本地震　補助金制度紹介
• 熊本県中小企業診断士協会 「中小企業診断士の日」特別講演会開催
• 熊本県中小企業診断士協会　総会開催
• 研究会活動報告
「中小企業支援施策研究会」「パートナー型コンサルタント研究会」「IT・DX支援研究会」
新入会員紹介 …… 14
協会活動実績 …… 16
会員名簿 …… 17

落ち着いて壁打ち



一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会
会 長 **井 上 照 教**

世界的に盛り上がった４年に一度のサッカーワールドカップは、欧州スペインの２度目の優勝で幕を閉じた。前回まで同様日本代表も頑張ったが、世界は広いことをまたもや思い知らされた。サッカーをはじめスポーツでは、人間が人間技とは思えないパフォーマンスを発揮することが魅力である。長年の鍛錬で培った技術と能力が多くの人々を魅了する。スポーツ以外の音楽や美術等文化的な場面においても、過去から現在まで多くの凄技が世界の人々の感性に訴えてきた。

何度かのブームを経て満を持して登場した生成ＡＩは、過去から蓄積学習されたデータの組み合わせによって様々な答えを瞬時に提供してくれる。ＨＰ等に掲載された人物等がリアルなのか生成されたものか、見分けはつかない（容易に騙される）。

現在もＡＩの能力は日々増強しており（半導体の活躍によって）、シンギュラリティといわれる特異点はとうに超えているのではないかとも感じる。私たちの世界はますます自然を超越し人工化するのであろう。

人間の束である組織は、ＡＩとどのように共存していくだろうか。組織の行動はその目的達成に向け環境に適応し変化するが、組織の成員がＡＩとなった時、あるいは上司がＡＩとなった時に相互の信頼関係を保持することができるだろうか。ＡＩが最も能力を発揮できると思われるシステム化や目標達成への道筋を論理的に導き出す時、収斂されたプロセスやプログラムが最短経路で提案され、高い生産性が得られるだろう。

人間が実際に体験することなくバーチャルに試行し、その中で成功する確率の高いものを選択すれば無駄なく無理なく目的が達成できよう。壁打ちという試行経験が成功への道筋を明らかにしてくれる。ＡＩがあれば経験豊富な上司も不要となる。

若い時分にはよく壁打ちをした。これは文字通り壁に向かってボールを投げる（あるいは蹴る）行為であり、上手になるための練習である。スポーツ分野でＡＩが助けてくれることはそれほどなさそうにも思えるが、ビジネスの世界では日々壁打ちが行われている。上手に壁に向けてボールを投げれば役立つ回答を素直によこしてくれる。

ＡＩも重要な役回り（ROLE）を得て、かつ深呼吸をしながら（STEP BY STEP）考えると良い回答を導くらしい。人間は人間技でない神業を創造しなければならない。

熊本の元気企業紹介

地域とともに歩み続けて40年

快適でクリーンな生活インフラを創造する 川村工業株式会社







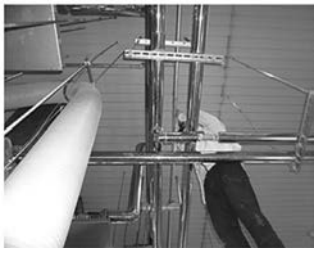




〈企業概要〉

社　名：川村工業株式会社
所在地：熊本県八代市高下西町1489番地1
創　業：1947年
設　立：1987年
代　表：川村　倫太郎
従業員：８名
事業内容：空調設備工事、給排水設備工事、太陽光発電設備工事





●沿革

1947年、熊本県八代市において、畳製造業として創業。
1987年８月、川村工業有限会社の設立を機に、設備工事業を開始。
1998年７月、株式会社に組織変更、資本金を2,000万円に増資。
2008年７月、資本金を4,300万円に増資。
2022年、八代市植柳元町から高下西町に本社移転。
2024年８月、川村忠生氏から川村倫太郎氏に代表交代。

●地元八代の設備工事業者として

川村工業株式会社は、法人設立以降、地元八代に密着した設備工事業者として、着実に事業を拡大してきました。地元の学校、公共施設、福祉法人施設を中心に、空調設備工事、トイレ等の衛生設備工事、電気設備工事を行い、また、日々の生活を支える水道水配水管敷設工事、太陽光発電設備設置工事等、幅広い工事に対応し、地元の快適でクリーンな生活インフラ整備に貢献しています。

●アナログとデジタルが融合した技術力

同社が請け負う工事の施設は、学校や病院等、比較的大規模な施設が多く、使用する配管も特殊な形状を指定され、設置方法も様々です。そのような多様なニーズに対応するため、当社では「多能工化」を推進してきました。現場での実績を積み上げる他、従業員には、様々な資格の取得を推奨、資格取得や研修に関わる費用を会社で負担し、従業員の能力開発に力を入れています。

従業員のスキルアップに注力する一方、同社はＩＴ化にも積極的に取り組んでおり、２年前、市内の同業者内では初めてセンサーを取り入れたＩＣＴ施工を開始し、省力化、生産性の向上を図っています。また、設計図のＣＡＤ化にも早期から対応しており、ノウハウを有しています。

従来の「人」のスキルと「ＩＴ」、このアナログとデジタルが融合した技術力は、川村工業の強みの源泉になっています。

●事業承継～変えるものと変えないもの～

2024年、先代の川村忠生氏から川村倫太郎氏に事業承継を実施、経営のバトンタッチを行いました。



川村工業株式会社経営層
左から川村辰太郎氏、川村忠生氏（前代表）、川村倫太郎氏（現代表）、川村明美氏

これまで同社は「職人集団」として技術力の研鑽に努め、また、経営層、従業員含めた「家族経営」の組織風土の中、事業を運営してきましたが、現在、新代表のもと、家族経営の温かみは残しつつ、労務管理の制度化、女性の技術者育成、ＳＤＧｓの推進等、より働きやすい環境の整備に力を入れています。

川村工業は、1987年の設立以来、「人に喜ばれる仕事をしよう」を合言葉に、地元八代を中心とした生活に欠かすことのできない衛生設備や空調、電気設備、水道設備などの生活インフラ事業を行ってきました。確かな技術力を基盤とした「人に喜ばれる仕事」、この想いを引継ぎながら、従業員、及び会社の成長に必要な変革は厭わず挑戦し続けていきます。

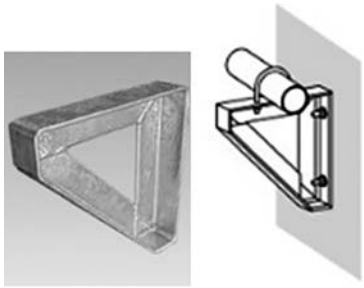
●令和８年熊本地震を受けて

2026年７月28日、令和８年熊本地震が発生し、同社がある八代市も震度６強を観測、従業員にケガはなく、建物や機械類も特に被害はなかったものの、書類が散乱、停電も発生しました。

事務所内が混乱する中、地震発生直後から、「水が出ない」「修理してほしい」との電話が鳴り続け、従業員は現場に急行、一日も早く生活インフラを復旧し、地域住民に安心・安全な生活を届けるため、修理に奔走しています。

●さらなる飛躍を目指して

設備工事業者として歩んできた同社は、現在、地元の管工事業者を主な対象顧客とした新規事業（サポート材加工業）に挑戦しています。



上図は、三角型サポート材の写真と配管の設置イメージ

給排水設備、空調工事では、いずれも配管を使用しますが、新規事業では、その配管を支える「サポート材」の加工を行います。

新規事業では、サポート材の加工の他、配管加工の技術力を活かし、配管へのサポート材の取り付けも行います。サポート材に配管を取り付けた形で現場に納品できるため、顧客である管工事業者は、現場で配管をはめ合わせるのみですみ、大幅な省力化につながります。この「配管のプレハブ化」により、高齢化、人材不足で悩む小規模・零細事業者の事業継続に貢献していきます。

川村工業は、これからも「人に喜ばれる仕事」の想いを胸に、働きやすい環境整備、技術力の研鑽を行いながら、新分野への挑戦、事業の拡大を進め、県内トップ企業を目指します。

（文責：武田　明子 会員）

職場で活躍する企業内診断士訪問シリーズ ～第８回～



熊本県商工会連合会
特任支援課　課長補佐

上田（かみだ）琢磨（たくま）氏

職場で活躍されている中小企業診断士を訪問してお話を聞くシリーズ。今回は熊本県商工会連合会の上田琢磨会員を訪問しました。上田氏は、特任支援課に所属され、事業承継や復興支援、その他様々な視点から、事業者の皆さまの支援に取り組んでいらっしゃいます。

１．現在の仕事についてお聞かせください。

事業承継支援を柱に、熊本地震・令和２年７月豪雨・令和７年８月豪雨からの復興支援や、経営発達支援計画・事業継続力強化支援計画の推進などを行う特任支援課に所属しています。私は受託補助事業の執行管理と、県内会員事業者の現状を把握し、施策や行政への提言につなげる基礎資料を作成する調査事業などを担当しています。

２．中小企業診断士を目指したきっかけを教えてください。

金融機関（前職）と商工会（現職）で事業者支援に携わる中で、経験に基づく判断はできても、その根拠を体系立てて説明することの難しさを感じていました。これまで断片的に積み重ねてきた知識や経験を一度「棚卸」し、網羅的に整理し直したいという思いが、中小企業診断士を目指した一番のきっかけです。

３．中小企業診断士の資格をどう活用していますか。

業務上の課題に直面した際に、「視点や視座を変える」「構造化する」といった、資格取得の過程で身につけた多角的な観察法や思考整理法が活かせていると感じています。またなにより、協会での活動を通じて知り合った中小企業診断士の方々には、仕事面での専門的な助言をいただくとともに、気軽に相談できる存在として支えていただいています。多様な業種・立場の方々とのつながりが、日々の判断の幅を広げてくれていると実感しています。

４．企業内診断士としてメッセージをお願いします。

商工会には、金融や労務の窓口、補助金の申請支援、専門家の派遣、会員同士のつながりがあります。これらを支援としてつなげられることが商工会に勤める企業内診断士の強みだと考えています。外部環境が厳しくなる中で組織としてさらなる変化を求められる局面において支援力を最大化し、事業者の享受する効果が最大になるための一助となるよう現在の役割を果たしていきたいと思います。

（取材担当：安田　護 会員）

特　　集

熊本地震から10年 ～災害からの復興を振り返る～

一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会　会長　**井　上　照　教**

先日（７月28日）、県内で大きな地震がありました。被災された方には慎んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈りします。

熊本地震の発生から2026年で10年が経過しました。この10年間、熊本県内ではインフラの「創造的復興」や大規模な地域経済の変革、そして新たな災害の試練など、多くの社会的な出来事やイベントが起きています。以下、主要な動向をまとめました。

熊本県内の主な出来事・イベント年表
(2016年～2026年)

2016年（平成28年）

- ４月：熊本地震（前震４月14日・本震４月16日）が発生。益城町や西原村で震度７を２回観測し、熊本城の石垣崩落や阿蘇大橋の崩落など甚大な被害が出る。
- 10月：阿蘇山の中岳で36年ぶりとなる爆発的噴火が発生。

2018年（平成30年）

- ４月：熊本地震からの復興を支援するため、漫画『ONE PIECE』の作者･尾田栄一郎氏（熊本市出身）との連携による「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が本格始動。県内各地にキャラクターの麦わらの一味の銅像が順次設置され始める。

2019年（令和元年）

- ９月：熊本市中心部の桜町地区に、日本最大級のバスターミナルや「熊本城ホール」を併設した複合商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto（サクラマチクマモト）」がオープン。
- 10月～12月：「ラグビーワールドカップ2019」および「世界女子ハンドボール選手権大会」が熊本県内で開催され、国内外から多くの観光客が来訪。

2020年（令和２年）

- ７月：令和２年７月豪雨（熊本豪雨）が発生。球磨川が猛烈な大氾濫を引き起こし、人吉・球磨地域や芦北地域を中心に死者・行方不明者69人にのぼる甚大な水害となる。
- ８月：熊本地震で寸断されていたＪＲ豊肥本線（肥後大津～阿蘇間）が約４年４ヶ月ぶりに全線運転再開。
- 10月：国道57号線の復旧および「北側復旧ルート（自動車専用道路）」が開通。

2021年（令和３年）

- ３月：地震で崩落した旧阿蘇大橋の下流に、復興のシンボルとなる「新阿蘇大橋」が開通。阿蘇への主要アクセスが大幅に改善される。
- ４月：熊本城天守閣の復旧工事が完了し、内部の一般公開がスタート。
- ４月：ＪＲ熊本駅ビルに大型商業施設「アミュプラザくまもと」がグランドオープン。
- 11月：世界最大手の半導体受託製造企業「TSMC（台湾積体電路製造）」が、熊本県菊陽町への進出（第１工場建設）を正式発表。

2023年（令和５年）

- ３月：阿蘇くまもと空港に、木造建築を取り入れた新しい旅客ターミナルビルが開業。
- ７月：熊本地震で甚大な被害を受け不通となっていた「南阿蘇鉄道」が約７年ぶりに全線（立野～高森間）で運転を再開、ＪＲ豊肥本線への乗り入れも開始。
- ７月：南阿蘇村に熊本地震の教訓を後世に伝える中核施設、熊本地震震災ミュージアム「KIOKU（キオク）」が開館。
- 12月：熊本地震で倒壊した国指定重要文化財「阿蘇神社 楼門」が、約７年半の歳月を経て復旧完了。

2024年（令和６年）

- ２月：TSMCの熊本第１工場が完成・開所式を挙行。周辺のインフラ整備や台湾からの移住者急増など

「半導体バブル」が本格化。同時に第２工場の建設も発表される。

- ４月：蒲島郁夫知事が４期16年で退任。新知事に元副知事の木村敬氏が当選・就任。
- 10月：国内最大級の防災イベント「ぼうさいこくたい2024（防災推進国民大会）」が熊本市で開催され、全国に震災の教訓を発信。
- 12月：TSMCの熊本第１工場が半導体の商業量産を開始。

2026年（令和８年・現在）

- ４月：熊本地震発生から10年を迎える。熊本城二の丸広場などで「熊本復興 飛翔祭2026」が開催され、ブルーインパルスが復興を記念した展示飛行を披露。県と市町村の共催で合同追悼式が実施される。
- ７月～：大型観光キャンペーン「熊本デスティネーションキャンペーン2026」がスタートし、全国に向けて復興した現在の熊本の魅力を発信中。

熊本県は今後、2032年の熊本城「宇土櫓」の復旧、そして2052年の熊本城完全復旧に向けて、長期的な歩みを一歩ずつ進めています。

以上、ＡＩがまとめてくれた10年の熊本県内の主な出来事を羅列しました。この10年で多くのことが起こっています。特に、各種インフラの復興と新たな施設整備には相当の資金が投下されたことが分かります。

我々中小企業診断士も、当会会員をはじめとして中小企業の復興支援の取組に、微力ながら携わってきました。地震直後の相談対応では、被災の話を聞くだけで何もできなかった無力さを感じたことを思い出します。

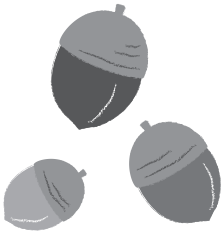
多くの協会会員が自ら被災したにもかかわらず、公的な復旧復興への取組に協力頂いたことは会の誇りでもあり、将来に語り継ぐべきことだろうと感じます。他県でも、災害復興支援に積極的に取り組む仲間の存在は、地域企業にとって心強いはずです。

昨年、福島県の浜通り地区を訪問して原発事故後の実態を見てきました。15年以上経った現在も、原発の周辺地域は未だ立入禁止となっており（ゴーストタウン化した印象です）、見通しが難しい中でも復興への取り組みが日々進んでいます。

気候変動の影響もあって、酷暑や大雨災害が頻発し、大規模地震の予測もされています。これらを正確に予測することが困難な以上、我々は十分な備えをしておく他ありません。

「長期的には我々は皆死んでいる」という経済学者の言葉に象徴されるような、短期かつ自分志向の世俗が蔓延していますが、被災して身に染みたのは周りの方々の優しさと思いやりです。「困った時はお互い様」を心掛け、人の身の上を我がことのように感じ、その人の立場に立った支援ができる力が備わったことが、熊本地震の禍と福かもしれません。

協会会員が増加するとともに平均年齢も若くなっています。災害復興支援の経験を糧として、今後も地域企業に求められる支援を真摯に続けて行きたいと考えています。



特　　集

「まさか」に備える　ＢＣＰ・事業継続力強化計画

担当：中小企業診断士　**武　田　明　子**

2026年７月28日、最大震度７を観測した「令和８年熊本地震」が発生しました。被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。

地震が発生してから１ヵ月が経過した現在も、避難所や車中泊での避難生活を余儀なくされている方、また水道も復旧半ばで、酷暑の中、不自由な生活を強いられている方も多くいらっしゃいます。

８月末現在、安全確保、生活の再建が最優先課題として取り組まれている中ですが、事業の再建も大きな課題となっています。工場や店舗の倒壊、器具備品類の破損等の直接被害の他、売上減少等の間接被害も含めると、その被害の大きさは計り知れません。

私たち中小企業診断士も被災された事業者の皆さまに寄り添い、復旧・復興に力を尽くしてまいります。

■ＢＣＰとは

2016年に熊本地震が発生してから10年後、「令和８年熊本地震」が発生しました。「10年のうちに、まさか」と思われた方も多いのではないでしょうか。

しかし、その「まさか」は、今後も起こってしまう可能性は十分にあります。安全の確保、生活の再建、そして事業の再建を進められている大変な状況ですが、事業の再建に目途がたった後、今後の「まさか」に備え、ＢＣＰの作成を検討していただきたいと思います。

ＢＣＰ（事業継続計画）とは、企業が今回の地震のような自然災害、また大火災やテロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

地震の他、昨今は、全国各地で豪雨被害も頻発しています。ＢＣＰの重要性は増々高まっています。

■ＢＣＰの第一歩～事業継続力強化計画～

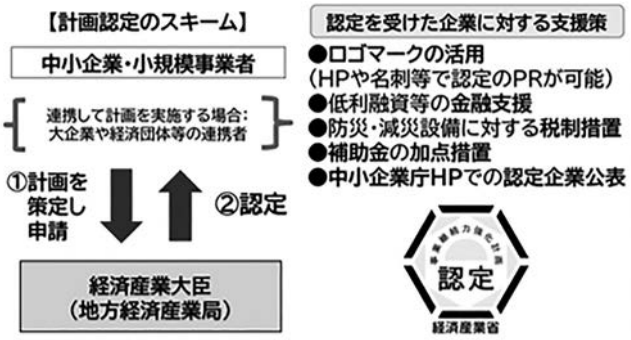
しかし、いざＢＣＰを作成しようと思っても、ＢＣＰは決まった様式があるわけではなく、また中小企業庁に掲載されている様式例もボリュームが多いため、中小企業の事業者の方にとって、やや取り組みづらいという点があるのも事実です。

そこで、ＢＣＰの第一歩として取り組んでいただきたいのが、「事業継続力強化計画」です。

事業継続力強化計画とは、ＢＣＰ同様、中小企業が自社の災害リスクを認識し、防災・減災対策の第一歩として取り組むために、必要な項目を盛り込んだもので、将来的に行う災害対策などを記載するものです。

事業継続力強化計画は、認定制度になっており、認定を受けた中小企業は、防災・減災設備に対する税制優遇、低利融資、補助金の加点措置等を受けることができます。

〈計画策定のスキーム〉



事業継続力強化計画は、記載項目が決まっており、また、中小企業庁のホームページには、記載例が豊富な策定の手引き等が掲載されているため、中小企業の事業者の方も取り組みやすいものになっています。

〈計画策定の５つのステップ〉

事業継続力強化計画は、主に以下５つのステップの検討を通じて計画を策定していきます。



■「備え」の意識

緊急事態が発生した場合、計画どおりにいかないことも多いかもしれませんが、事業継続力強化計画を作成しておくことで、日頃から「備え」への意識が高まり、その意識が、従業員や家族の安全確保、損害の程度の軽減、事業の早期復旧につながります。

また、改めて経営資源の見直しを行うことで、課題の改善につなげるという副次的な効果もあります。「まさか」に備え、また経営改善の一環として、作成をご検討いただければと思います。

■最後に

これからも震災からの復旧・復興への長い道のりが続きます。大変厳しい状況かと思いますが、一日も早い復旧・復興に向け、行政機関、商工団体、金融機関、他関係機関の皆さまとともに、中小企業診断士も力を尽くしてまいります。

〈ＢＣＰ関連ページ〉

- 中小企業庁
  （中小企業ＢＣＰ策定運用指針）
  https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/
  （事業継続力強化計画）
  https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/antei/bousai/keizokuryoku.html
- 内閣府
  （防災情報のページ）
  http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/index.html
  http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk.html
- 九州経済産業局
  （大切なビジネスを守るBCP事例集）
  https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/chusho/jirei/bcp/top.html



トピックス

令和８年熊本地震　補助金制度紹介

令和８年熊本地震の発生から約２ヵ月経過し、行政機関等から様々な支援施策が発表されています。ここでは、中小企業庁から発表された「中小企業者等向け支援策ガイドブック」から、施設の復旧や事業再開などに活用できる主だった補助金制度についてご紹介します。

※本記事は、令和８年９月24日時点の情報になります。最新情報及び詳細は、中小企業庁ホームページ「令和８年熊本地震に伴う災害関連情報」（https://www.chusho.meti.go.jp/saigai/r8_kumamoto_jishin/index.html）をご参照ください。

⑴ くまもと事業者再出発支援補助金

〈事業目的〉

令和８年熊本地震により大きな被害を受けた地域を対象に、中堅企業・中小企業・小規模事業者が行う施設・設備復旧の費用を補助。これにより、被災地域の速やかな復興の実現を目指す。

〈対象事業者〉

熊本県に所在する、令和８年熊本地震の被害を受けた中堅企業・中小企業・小規模事業者

〈補助率〉

- 中小企業・小規模事業者：３／４以内、一部定額補助
- 中堅企業：１／２以内、一部定額補助

〈補助上限〉

- １事業者あたり３億円
- 多重被災事業者：１事業者あたり15億円、うち５億円まで定額補助※

※過去10か年度以内に複数回被災かつ復興途上である等の要件を満たす場合

〈公募期間〉

令和８年10月１日より受付開始

⑵ 小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）

〈事業目的〉

熊本県に所在する令和８年熊本地震により被害を受けた小規模事業者等が、事業再建に向けた経営計画を自ら策定し、商工会・商工会議所の支援を受けながら、事業再建及び販路開拓等に向けた取組に要する経費の一部を補助するもの。

〈対象事業者〉

熊本県に所在する、令和８年熊本地震により被害を受けた小規模事業者等※

※従業員数が「商業・サービス業（宿泊業、娯楽業を除く）」の場合５人以下、製造業またはそれ以外の業種の場合は20人以下である事業者。

〈補助率〉

２／３または定額補助（10/10）※

※過去10か年度以内の複数回被災かつ復興途上である等の要件を満たす場合

〈補助上限〉

① 直接被害：200万円

② 間接被害：100万円

① 直接被害（自社の事業用資産に損壊等の直接的な被害を受けた場合）

→自治体が発行した事業所・事業資産等が罹災したことが分かる公的書類（例：罹災(被災)証明書等）

② 間接被害（令和８年７月から公募申請締切り月の１か月前までの任意の１か月の売上高が、前年同期と比較して20％以上減少した事業者。）

→セーフティネット保証４号認定書、もしくは自治体独自に発行した売上減少の証明書等

〈対象経費〉

機械装置費等、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費（オンラインによる展示会・商談会等を含む）、旅費、新商品開発費、借料、設備処分費、委託・外注費、車両購入費（事業に供する車両が被災した場合に限る）、修繕費

〈公募期間〉

公募要領公開：令和８年９月９日（水）

申請受付期間：令和８年９月16日（水）～10月16日（金）

※９月24日時点では上記公募期間になりますが、今後、２次公募等、継続される可能性があります。

詳細は、中小企業庁ホームページ等、ご確認ください。

一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会
「中小企業診断士の日」特別講演会開催

（一社）熊本県中小企業診断士協会の「中小企業診断士の日」が2025年11月７日（金）に、24名の参加でくまもと県民交流館パレアにて開催された。

特別講演会は講師として熊本市文化市民局熊本城総合事務所の熊本城災害復旧相談役の津曲俊博氏をお招きし、「熊本城の復旧復興と観光振興」として約１時間の講演をおこなっていただいた。





一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会　総会開催

《2025年度報告、2026年度事業計画の承認など》

（一社）熊本県中小企業診断士協会の2026年度の定時総会が５月16日（土）に、出席会員（オンライン含む）及び委任状の合計84名により、定足数を満たしてアークホテル熊本で開催された。

県診断士協会2025年度の事業報告、同収支報と2026年度事業計画（案）、同収支予算（案）について検討を行い、満場一致で承認された。

総会終了後、懇親会が催され、参加者はくつろいだ雰囲気のなかで懇親を深めた。



研究会活動報告

【中小企業支援施策研究会】

中小企業支援施策研究会は、国や地方自治体が展開する多様な支援施策（補助金、各種制度、経営支援策など）の最新動向を迅速にキャッチアップし、それらを実際の支援現場で有効に活用・提案できる「施策のプロフェッショナル」を目指す研究会です。

現在18名が所属しています。

単に施策の情報を知るだけでなく、実際の企業支援への適用方法や申請計画書の作成ノウハウ、行政・支援機関との連携方法など、実務に直結する実践的なノウハウの共有と研鑽を重視し活動を行っています。

主な活動内容は以下のとおりです。

- 最新支援施策・補助金情報の共有と深掘り分析
- 申請計画書・事業計画書の事例研究と採択ノウハウの共有
- 行政・自治体・公的支援機関の施策動向や連携手法の研究
- 会員それぞれの得意分野や実務経験を活かした支援コンテンツの共同開発
- 新人・企業内診断士に向けた実務機会の提供や情報交換

国や自治体の支援施策は、中小企業が持続的な成長や事業変革に取り組む際の大変強力なツールとなります。当研究会では、複雑化・多様化する施策を紐解き、経営者に最適な打ち手を提案できるスキルの習得と，会員相互のネットワーク強化を図っています。

得られた知見や実践ノウハウを支援現場に還元し、中小企業の課題解決と地域経済の活性化に貢献することを目指して活動を続けています。

■Webサイト

https://sesaku-kenkyuukai.yasuda-consultant.com/

■Webサイト二次元コード



【パートナー型コンサルタント研究会】

パートナー型コンサルタント研究会は、中小企業診断士としての知識やスキルに加え、支援者としての自身のあり方を整え、コーチング、心理学、行動経済学などの知見を学び、実践することで、中小企業へのさらなる価値貢献を目指す研究会として2023年10月に発足しました（会員11名、2026年９月現在）。

「安心・安全・ポジティブな場」を大切にしながら、知識を学ぶだけでなく、実際の企業支援やセミナー、グループワークなど、実践を重視した活動を毎月１回行っています。

主な活動内容は以下のとおりです。

- 各分野の専門家・実務家を招いた講義、セミナー、グループワーク
- 金融機関等との連携による中小企業への直接支援（事業計画策定、経営診断、各種助言等）
- 経営者向けセミナーの企画・運営
- コーチング、心理学、行動経済学、コミュニケーションスキル等の研究と実践
- 会員それぞれの専門性や強みを生かした支援手法・コンサルティングコンテンツの研究

また、本研究会の特徴的な取り組みの一つが、１泊２日で行う「ビジョン合宿」です。

日常の仕事や支援活動からいったん離れ、自分自身が何を大切にし、これからどのような診断士・支援者でありたいのかを見つめ直します。経営理念（ビジョン・ミッション・バリュー）の策定や今後の方向性を考えるとともに、メンバー同士で対話を重ね、自身の考えを深める機会としています。

研究会で得た知識や気づきを支援現場で実践し、その経験を研究会に持ち帰って共有・検証する。この循環を通じて、一人ひとりの支援力と、中小企業に提供できる価値の向上を目指しています。





【ＩＴ・ＤＸ支援研究会】

ＩＴ・ＤＸ支援研究会は、中小企業のデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）推進を目的として、2024年６月に設立された現在12名の会員による団体です。中小企業が抱える経営課題に対し、ＩＴやＤＸの活用によって売上向上・生産性向上を支援することを目指し、実践的な取り組みを行っています。

活動の中心は、毎月１回開催される勉強会です。この勉強会では、事業者に役立つＩＴツールや最新技術、支援手法について、外部講師や会員による講義を通じて知識を深めています。これまでに取り上げたテーマには、「顧客管理システム」「生成ＡＩの活用」「IoT」「POSレジの導入」「スマート農業」などがあり、最近では特にＡＩ活用中心の内容が多く、中小企業への支援として役立てる内容を取り上げています。

また、導入効果の高いＩＴツールの発掘と実践、効果のモニタリングを行いながら、診断士による支援スキームの構築にも取り組んでいます。単なる知識習得にとどまらず、実際の事業者支援に活かすことを重視し、現場での成果につながる支援体制の整備を進めています。



新入会員紹介

① 現職（最終職場） ② 趣味・特技等 ③ 一言メッセージ



外屋敷　竜一（ほかやしき　りゅういち）

① 株式会社For Others Japan　代表取締役

② ランニング・年２回ほどマラソン、ゴルフ（今年15年ぶりに再挑戦）

③ オムロングループで30年間、駅の改札機や交通管制などの制御機器・システム開発にＳＥ、ＰＭ、組織管理職として従事しました。新卒配属が熊本で、23年ぶりに戻ってきました。

現在は財務基盤強化を軸に、九州各地の中小企業をご支援しています。鹿児島出身ですが、熊本は若手時代を過ごした第二の故郷です。事業者支援を通して地域の経済発展に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



月田　真樹（つきだ　まさき）

① 月田経営研究所　所長
熊本県よろず支援拠点コーディネーター
（最終職場：熊本中央信用金庫）

② ドライブ

③ 信用金庫に29年間勤務し、令和８年４月に独立いたしました。「資金繰り改善ホームドクター」として、経営者が資金繰りに悩むことなく本業に集中できるよう日々奔走しています。企業が元気になれば、地域も元気になる――その信念を胸に、皆さまとともに地域経済を支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



古城　里美（こじょう　さとみ）

① 弁護士業務（だいわ法律事務所）

② 読書（主に村上春樹、山本昌代）、スロージョグ

③ 令和８年５月に登録しました。
事業承継の勉強中で、修行場所を探しております。よろしくお願い致します。



森井　宏明（もりい　ひろあき）

① 東京海上日動火災保険株式会社

② 日本ソムリエ協会のワインエキスパート、SAKE DIPLOMAの資格を保有いたしております。そのため、ワイン、日本酒等お酒を飲むことが大好きです。健康には留意しながらお酒は、これからも楽しんでいきたいと思っています。バラの栽培、オオクワガタの飼育などにもチャレンジしています。

③ 今回の地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

私は、2023年の１年間、熊本県働き方改革推進支援センターのセンター長として、熊本に勤務し、県内の事業者の皆様には大変お世話になりました。熊本は大好きな街であり、熊本の中小企業、小規模事業者の支援に向け、これからも全力投球で頑張っていきたいと思います。これから、どうぞよろしくお願い申し上げます。



成田　渉（なりた　わたる）

① 情報通信関連

② ランニング（熊本の景色を楽しみながら走っています）

③ 2025年夏から熊本で暮らし始めた企業内診断士です。熊本の地域や企業を元気づけることに少しでも貢献していければと思っております。ご一緒する機会がありましたら、よろしくお願いいたします。



日髙　悠希（ひたか　ゆき）

①　九大ＯＩＰ株式会社

②　旅行、読書、新しいバー・飲食店の開拓

③　現職では、大学研究者の技術を事業化につなげるため、知財取得も含めた支援に携わっています。診断士としても、企業さまの技術力を活かした強みを見出し、新たな価値の創造につなげられるよう、ご支援していきたいと思います。



辻　鏡子（つじ　きょうこ）

①　辻鏡子中小企業診断士事務所・経営創研株式会社（パートナー）
キッコーマン株式会社　主幹（最終職場）

②　歌唱・邦楽演奏・散歩・料理・お笑い鑑賞など

③　食品業界のお悩み事がございましたら、気軽にご相談ください。

顧客ニーズの把握から商品企画・販売・製販調整までＢtoＢ（外食･中食･食品メーカー原料）の「ものづくり」の実務経験があります。診断士の視座での経営計画と実務経験にもとづくアクションプラン策定で、企業者様のＰＤＣＡサイクルを無理なくまわしていくお手伝いをいたします。どうぞ宜しくお願いいたします。



富田　忍（とみた　しのぶ）

①　株式会社再春館製薬所　在籍中

②　熊本県内のランチ・カフェ・名所巡り、釣り

③　診断士としての歩みを始めたばかりで、当初は浅学ゆえの不躾な発言等でご迷惑をおかけすることもあるかと存じます。先輩方の胸をお借りしながら誠実に研鑽を積んでまいりますので、温かいご指導ご鞭撻とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



鈴木　龍介（すずき りゅうすけ）

①　熊本赤十字病院（非常勤）

②　ロードバイク（ロングライド）

③　この度、熊本県中小企業診断士協会に入会いたしました。産業医の資格もあります。組織づくりが得意分野です。

今後は培った知見を活かし、熊本の地域経済を支える中小企業の皆さまの伴走者として貢献していく所存です。諸先輩方から多くの学びをいただきつつ、協会の活動にも積極的に参加してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



◆◆◆ 協会活動実績 ◆◆◆

R7.9.1～R8.8.31

月　日	事業名・テーマ・参加者
R７．10．７	新入社員フォローアップ研修　13社　45名
R７．10．10	中堅社員スキルアップ研修　４社　９名
R７．10．10	金融機関様との懇話会 記念講演会「企業の成長発展のために金融機関や支援機関が果たすべき役割」 講師　新改　敬英 氏　　７機関11名　診断士６名
R７．10．21	九州沖縄ブロック会議　宮崎県協会主催へ参加
R７．11．７	診断士の日　「熊本城の復旧復興と観光振興」 講師　津曲　俊博 氏　　参加者　18名
R７．11．23	診断士試験受験生交流会　受験生４名　診断士３名
R７．12．６	研修会　32名　忘年懇親会　37名
R７．12．11	「大規模災害被災県協会意見交換会」福島県にて開催　井上会長・有働副会長ご出席
R８．１．18	第３回理事会
R８．２．15	Ｒ７年度長洲町創業セミナー受講者フォローアップ業務委託　受講者５名
R８．２．25	生成ＡＩを活用した知的財産の可視化と経営戦略の立て方セミナー 会場：くまもと大学連携インキュベータ 講師：西江　力 会員　　参加者　６名
R８．３．８	第４回理事会
R８．４．２・３	新入社員研修（天草コース）中止
R８．４．６・７・８	第48回　新入社員研修講座　第１コース　26社　70名
R８．４．13・14・15	第48回　新入社員研修講座　第２コース　11社　25名
R８．５．16	令和８年度定時総会　総会出席者40名　委任状44名　合計84名
R８．６．７	第１回理事会
R８．７．４	令和８年度長洲町創業セミナー　第１回
R８．７．18	令和８年度長洲町創業セミナー　第２回
R８．８．８	令和８年度　第１回中小企業診断士理論政策更新研修　地震の為中止
R８．８．22	令和８年度長洲町創業セミナー　第３回
R８．８．29	令和８年度長洲町創業セミナー　第４回

一般社団法人 熊本県中小企業診断士協会会員名簿

令和８年９月１日現在

	氏　名	連　絡　先	連絡先電話番号	E-Mail
1	荒　木　陽一郎	荒木中小企業診断士事務所 http://urban-trust.biz	096-284-1335 090-4519-1551	araki@urban-trust.biz
2	井　上　照　教	井上中小企業診断士事務所	090-6776-3607	ino101@bronze.ocn.ne.jp
3	井　上　愛　美	株式会社 桜小路		info@sakurakouji.com
4	岩　﨑　雄　司	かわしりコンサルティングオフィス http://kco-consult.jimdo.com	090-1162-6493	y.iwasaki.kco@gmail.com
5	植　田　和　典	株式会社 エンパサイズ https://empathize.jp/	080-5066-3390	kazunori.ueda@empathize.jp
6	有　働　雄　一	ファームサポートＵｄｏ	090-4982-1084	y.udo1955@gmail.com
7	江　島　　康	江島中小企業診断士事務所	090-4674-4224	ejiyasu.mame3@gmail.com
8	大　澤　眞　介	株式会社 OWLS BROS. http://www.owls-bros.co.jp	080-6443-2960	ohsawa@owls-bros.co.jp
9	大　村　美　枝	大村中小企業診断士事務所		omuramie0613@gmail.com
10	緒　方　晋　也	緒方経営相談所 https://ogamana.com		ogata.management@gmail.com https://ogamana.com
11	甲　斐　伸治郎	甲斐中小企業診断士事務所	090-4586-7832	skaiblue.kajimu@gmail.com
12	片　野　俊　行	株式会社 STUDYTECH https://www.studytech.co.jp/kumamoto/		katano@leapkk.co.jp
13	桂　　爽　淳	超律経営 https://choritsukeiei.com/	090-3194-0550	integrity@choritsukeiei.com
14	鹿子木　　康	中小企業診断士鹿子木事務所		kanakoghi@nifty.com
15	上　田　琢　磨	熊本県商工会連合会	096-325-5161 090-5142-6615	chuchan5151@gmail.com
16	川　田　恭　平	タカラスタンダード	080-5281-1921	kyoheikwt@gmail.com
17	木　下　徹　也	K-マネジメントバランス		kmgt.balance@gmail.com
18	吉良山　健　三	合志工業団地協同組合	096-248-7700	
19	桐　原　光　洋	中小企業診断士事務所　ナレッジケース	090-2711-9941	kirihara@knowledgecase.com
20	桐　山　　馨	合同会社 桐山経営研究所	090-9591-5553	kk11kmj@sky.plala.or.jp
21	隈　田　直　宏	肥後商事 株式会社	090-8297-2011	zhihongweitian@gmail.com
22	黒　瀬　賢　司	企業内診断士	096-201-4073	kkm.kuro@gmail.com
23	桑　山　和　大			
25	小　島　義　博	サスティナ共創研究所	096-365-4986	sustaink@guitar.ocn.ne.jp
26	古　城　里　美	だいわ法律事務所		
28	坂　口　義　一		090-8764-4941	giichi-13@jcom.zaq.ne.jp
29	坂　田　祐　輝	トゥシンク	090-3410-3172	tothinkbusi@gmail.com
30	坂　本　純　夫	坂本労務経営事務所	090-5292-0665	d.ash.sakamoto@sky.plala.or.jp
31	坂　本　博　行	坂本中小企業診断士事務所	080-1757-2236	sakamt@sat.bbiq.jp
32	佐々木　浩　二	佐々木中小企業診断士事務所	090-9478-2660	kouzi.sasa@gmail.com
33	下　川　峰　郎	下川経営コンサルティング事務所	090-1468-5432	shimokawa@biz.nifty.com
34	菅　原　孝　二	有限会社 ビジネス・アシスト	096-351-7489	ks-01@vesta.ocn.ne.jp
35	杉　谷　憲　一	すぎたに中小企業診断士事務所	090-7113-0485	sugitanik@gmail.com
36	鈴　来　敬　一	ビリティ・クリエイト		

	氏　名	連　絡　先	連絡先電話番号	E-Mail
37	鈴木龍介	株式会社 CRM管理	080-9536-5097	crmkanri.consulting@gmail.com
38	芹口博光	KanTac Consulting 合同会社 https://kan-tac.com/	080-5201-1632	info@kan-tac.com
40	髙野晋一	経営科学研究所	090-2538-6645	scene401@gmail.com
41	髙松博志	髙松ビジネス・デザイン・ソリューションズ	050-5052-1466	tbds1649@gmail.com
42	武田明子	武田中小企業診断士・行政書士事務所	080-5206-3560	akikot@takeda-keiei.com
43	田中輝明	田中中小企業診断士事務所	090-3798-4418	sper8ny9@royal.ocn.ne.jp
44	塚本　計	大型構造物製造メーカー	090-9482-0000	tsukamoto.ipod@gmail.com
45	月田真樹	月田経営研究所 https://tsukidakeiei.com	0968-74-2848	masaki@tsukidakeiei.com https://tsukidakeiei.com
46	辻　鏡子	辻鏡子中小企業診断士事務所	090-8807-3287	ktsuji43@outlook.jp
47	辻　健吾	熊本県農業協同組合中央会	096-328-1000	wrfwx090@ybb.ne.jp
48	堤　裕倫	熊本第一信用金庫 http://daiichishinkin.co.jp	096-355-6111	
49	津之浦奨大	つのうら中小企業診断士事務所 https://ts-smec.jp/	080-5271-0190	shota.tsunoura@gmail.com
50	津曲明子	ふくろうコンサルタント事務所		aki-tsuma@outlook.jp
51	鶴田誠一	株式会社 椿経営支援センター https://tubatax.jp	096-364-0660 080-7989-9299	s-tsuruda@tubatax.jp
52	富田　忍			tomicchi421@gmail.com
53	冨安航生	冨安中小企業診断士事務所	090-1657-8898	tomiyasu-k@outlook.com
54	朝長久典	くまもと大学連携インキュベータ	096-364-5115	
55	中木戸和人	シンカサポート	080-6441-3405	nakakido.shinka@gmail.com
57	永野栄一	肥後銀行サステナビリティ推進部	090-2713-8039	e_tuktuk@yahoo.co.jp
58	長野英一	長野企業経営支援事務所	090-4359-0668	hidesr11@gmail.com
59	中村剛志	なかむら診断士事務所	096-377-5101	bt.tuyo28@gmail.com
60	中村将也	株式会社 あおいＦＡＳ https://aoi-fas.co.jp/		s.nakamura@aoi-fas.co.jp
61	中村靖生	株式会社 Ｆ･ｉ･Ｔ総研	090-9586-2772	y-nakamura@fitsoken.com
62	奈須悦雄	ナスドリームズ	090-7982-1958	en.etsuo@jcom.zaq.ne.jp
63	成田　渉			narita.smec@gmail.com
64	西江　力	株式会社 ストアブレインコンサルティング	090-9795-6306	nishie@strbrain.jp
65	西川晃司	西川中小企業診断士事務所	080-3951-8350	kouji19870421@gmail.com
66	西田吉博	にしだ中小企業診断士事務所	090-7264-3024	ynishida@tra.bbiq.jp
67	西原耕司	あおいビジネスコンサルティングオフィス	087-802-7551	koji.nishihara@office-aoi.com
68	西谷洋二	西谷中小企業診断士事務所	090-3416-4566	yoji.nishitani470@gmail.com
69	西山　明	熊本第一信用金庫	090-4998-6533	a.k-nishiyama0805@nifty.com
70	根岸倫太郎	合同会社 ルーツ経営診断事務所	096-371-0079 090-7382-1831	negishi@roots-keiei.jp
71	野口敏史	野口法律事務所		
72	橋本雅哉	橋本中小企業診断士事務所	096-382-2807	ma.chan5731@gmail.com
73	原川修一	シーラスコンサルティングOffice やめない社員研究所	096-279-4384	harakawa3675@kki.biglobe.ne.jp
74	東原啓介	東原浩一郎税理士事務所	0964-23-3888	ksk.ut.sg.hs@gmail.com

	氏　名	連　絡　先	連絡先電話番号	E-Mail
76	日高悠希			hitaka0124@gmail.com
77	福嶌隆彦	福嶌経営労務事務所　株式会社 Bis総研 http://www.j-fkr.com	096-249-2040	biz@j-fkr.com
79	藤井敏彦	藤井中小企業診断士事務所	090-8087-9931	tfujii.rmc@gmail.com
80	古田哲朗	ふるた法律事務所 http://www.law-furuta.jp	096-285-7330	
81	外屋敷竜一	株式会社 For Others Japan https://forothers-spirit.com/	090-3418-9133	r.hokayashiki@forothers-spirit.com
82	堀　義親	堀中小企業診断士事務所	096-357-4570	ran.holly2020@gmail.com
83	本郷　誠	本郷経営研究所	096-365-3573	ANC59038@nifty.com
84	前之園博一	前之園行政書士事務所 http://h-maenosono.com	096-273-9818 080-5213-8104	info@h-maenosono.com
85	俣野泰司	スプルーツコンサルティング https://sprtc.jp	093-871-2111	matano@sprtc.jp
86	松井　忠			
87	松﨑健一	株式会社 商工組合中央金庫　熊本支店	080-5276-3971	freedomken03171.a@gmail.com
88	松本一喜	株式会社 松本経営事務所	096-379-7161	kumamoto@matujimu.com
89	松本和久	熊本中央信用金庫		
90	松本將司	松本中小企業診断士事務所	080-1741-6749	smatumoto@ksn.biglobe.ne.jp
91	松山欣哉	K&T経営コンサルティングオフィス	080-6532-5529	k8matsu@cilas.net
92	水野　節	企業内診断士	090-3075-6400	djcwk189flow@yahoo.co.jp
94	宮田昌尚	宮田経営サポートオフィス	090-1114-8170	m8170miyata@gmail.com
95	宮本美紀	弁理士法人 太陽国際特許事務所 https://www.taiyo-nk.co.jp/attorney/cat1/31252418.html	070-5020-5421	m-miyamt@taiyo-nk.co.jp
96	村上　強	村上経営研究所	096-200-3690	tsuyopon0416@yahoo.co.jp
97	村田　久	村田久中小企業診断士事務所	080-3359-2907	muraqmuraq@gmail.com
98	村橋誠一	熊本経営研究所	096-382-4385	murahashi@spice.ocn.ne.jp
99	森井宏明	森井宏明中小企業診断士事務所	092-812-5191	hiroakimorii@outlook.jp
100	安田　護	やすだ中小企業診断士事務所 https://yasuda-consultant.com		mamotion@hotmail.co.jp https://yasuda-consultant.com
101	山﨑正盛	企業内診断士		
102	山下政計	やまと Go Consulting 合同会社		masakazu-y@yamato-consul.biz
103	山下康明	山下経営研究所	096-322-2079	yamashitakeiei8@gmail.com
104	山田香織	株式会社 経営支援くまもと	090-7155-5986	caoli.kinaga@gmail.com
105	横山耕二	オフィス　チェイカス http://visnet.ne.jp/ep/chieikasu/	096-345-5814	CYL04676@nifty.com
106	吉本千剛	吉本中小企業診断士事務所		ma.kazutaka.yoshimoto@gmail.com
107	米満慎吾	熊本県信用保証協会	096-375-2000	
108	米光　聖	米光経営研究所	096-344-9274	ytoru924@yahoo.co.jp
109	渡辺紳一郎	渡辺経営研究所	096-294-1735	zul01442@nifty.com
110	渡辺裕介	渡辺綜合法律事務所 http://law-w.com/	096-223-5523	
111	渡邉　剛	アース・パレット法律事務所	096-345-7161	
112	渡辺資文	アウル・マネジメント・オフィス	090-7464-6626	kyomachilab@gmail.com

※この会員名簿につきましては、「会員名簿の掲載承諾および内容の確認」で同意を頂いた情報だけを記載しております。
なお、会員Noが表示されていない場合は掲載同意を頂いていないので掲載をしておりません。
会員名簿の掲載承諾後および内容の確認後に内容変更や記載内容の変更がございましたら事務局までご連絡ください。





わたしたち
中小企業診断士は、
チャレンジする
中小企業をサポートし、
元気な地域づくりに
貢献します。







消費低迷、価格競争の激化、国際化への対応など急激に変化する経営環境の中で、中小企業の経営課題は、多様化、複雑化しております。

今後、中小企業が勝ち残っていくためには、地域の特性を活かした確かな**経営戦略の策定**を行い、**経営力の強化**を図ることが急務となっています。

熊本県中小企業診断士協会は、**経営コンサルタントとして我が国唯一国家資格である経済産業大臣登録中小企業診断士**のネットワークを通じて、地元中小企業の課題解決のため、次の３つのサポート分野で様々な経営支援活動を行っております。



1 経営改革＆業務改善で売上・収益増をサポート!

2 社員研修＆各種セミナーで人財づくりをサポート!

3 公的診断＆各種調査研究で地域活性化をサポート!

●お問い合わせ

一般社団法人 **熊本県中小企業診断士協会**

TEL.096-288-6670　FAX.096-288-6243

URL：https://shindan-kumamoto.jp/

E-mail：info@shindan-kumamoto.jp

熊本県熊本市中央区南熊本3-14-3

くまもと大学連携インキュベータ208号室

